

(19) 日本国特許庁 (J.P.)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-113960

(43) 公開日 平成4年(1992)10月6日

(51) Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 4 1 J 31/00	Z	7265-2C		
B 6 5 D 71/08	F	7191-3E		

審査請求 未請求 請求項の数3(全 3 頁)

(21) 出願番号 実開平3-17623

(22) 出願日 平成3年(1991)3月25日

(71) 出願人 000237237

フジコピアン株式会社

大阪府大阪市西淀川区歌島4丁目8番43号

(72) 考案者 重岡 高志

大阪府大阪市西淀川区歌島4丁目8番43号

富士化学紙工業株式会社大阪工場内

(72) 考案者 阪西 豊

大阪府大阪市西淀川区御幣島5丁目4番14

号 富士化学紙工業株式会社技術センター

内

(74) 代理人 弁理士 北村 修

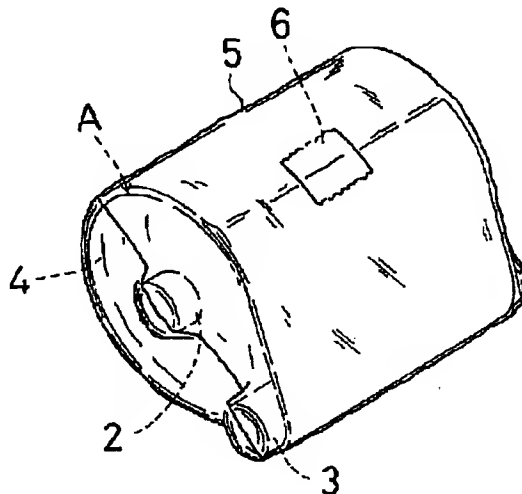
最終頁に続く

(54) 【考案の名称】 インクフィルム包装体

(57) 【要約】

【構成】 熱転写性インクフィルムを供給用コア2にロール状に巻き取ってあるインクフィルムロールAを緩衝材4で包み、この緩衝材4とインクフィルムロールAとを熱収縮性フィルム5にて密着包装する。

【効果】 緩衝材の持つ断熱機能と熱収縮性フィルムの収縮機能とを有効利用して、熱転写性インクフィルム自体に悪影響を与えることなく、しかも、少ない材料数及び工程数で防湿性及び防塵性に優れた包装体をコスト面で有利に製作することができる。更に、包装体自体の占有空間も少なく済むから、輸送や保管等をスペース面で有利に実行することができる。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 熱転写性インクフィルム（1）を供給用コア（2）にロール状に巻き取ってあるインクフィルムロール（A）を緩衝材（4）で包み、この緩衝材（4）を含むインクフィルムロール（A）全体を熱収縮性フィルム（5）にて密着包装してあるインクフィルム包装体。

【請求項2】 熱転写性インクフィルム（1）を供給用コア（2）にロール状に巻き取ってあるインクフィルムロール（A）と、前記熱転写性インクフィルム（1）の長手方向に対して直交する姿勢で当該インクフィルム（1）の遊端部に接着される巻取用コア（3）とを緩衝材（4）で包み、この緩衝材（4）及び巻取用コア（3）を含むインクフィルムロール（A）全体を熱収縮性フィルム（5）にて密着包装してあるインクフィルム包装体。

【請求項3】 前記緩衝材（4）の一端部（4a）が、インクフィルムロール（A）の外周面と巻取用コア（3）の外周面との間に入り込み配置されている請求項

2

2記載のインクフィルム包装体。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の第1実施例のインクフィルム包装体を示す全体の斜視図

【図2】 インクフィルムロール及び巻取用コアの斜視図

【図3】 緩衝材を巻き付けたときの斜視図

【図4】 熱収縮性フィルム内に入れたときの斜視図

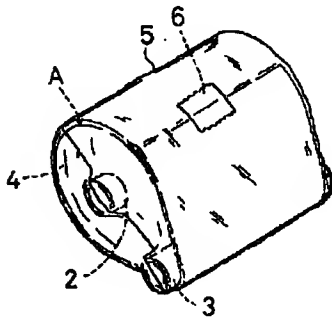
【図5】 第2実施例のインクフィルム包装体を示す断面図

【図6】 従来のインクフィルム包装体を示す分解斜視図

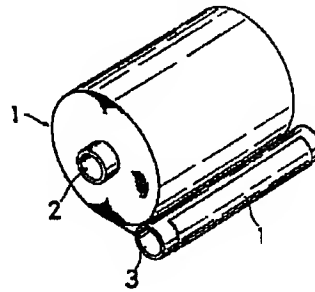
【符号の説明】

- A インクフィルムロール
 1 熱転写性インクフィルム
 2 供給用コア
 3 巻取用コア
 4 緩衝材
 4a 一端部
 5 熱収縮性フィルム

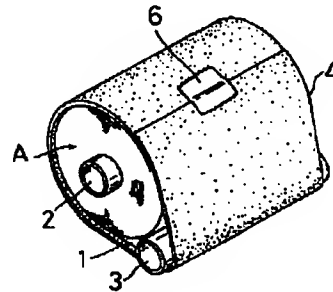
【図1】



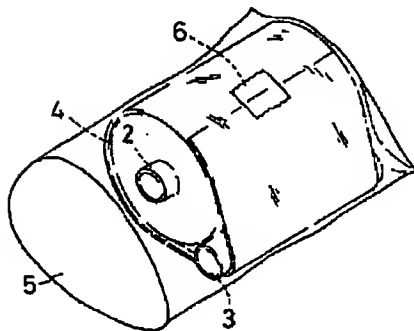
【図2】



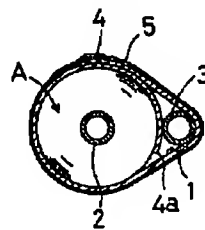
【図3】



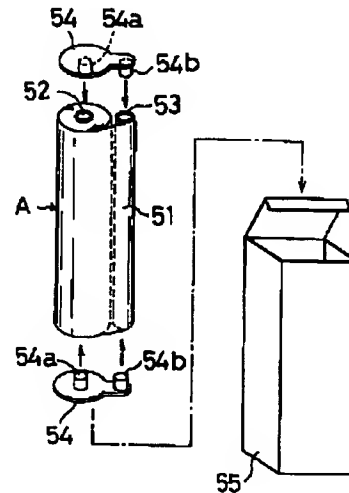
【図4】



【図5】



【図6】



フロントページの続き

(72)考案者 小島 裕昭

大阪府大阪市西淀川区御幣島5丁目4番14
号 富士化学紙工業株式会社技術センター
内

【公報種別】実用新案法第55条第2項において準用する特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成8年（1996）2月2日

【公開番号】実開平4-113960

【公開日】平成4年（1992）10月6日

【年通号数】公開実用新案公報4-1140

【出願番号】実願平3-17623

【国際特許分類第6版】

B41J 31/00 Z 9112-2C

B65D 71/08 F 330-3E

【手続補正書】

【提出日】平成7年3月27日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正内容】

【書類名】明細書

【考案の名称】インクフィルム包装体

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 転写インクフィルム（1）を供給用コア（2）にロール状に巻き取ってあるインクフィルムロール（A）全体を熱収縮性フィルム（5）にて密着包装してあるインクフィルム包装体。

【請求項2】 前記熱収縮性フィルム（5）内の前記インクフィルムロール（A）が緩衝材（4）で包まれている請求項1記載のインクフィルム包装体。

【請求項3】 転写インクフィルム（1）を供給用コア（2）にロール状に巻き取ってあるインクフィルムロール（A）と、前記転写インクフィルム（1）の長手方向に対して直交する姿勢で当該インクフィルム（1）の遊端部に接着される巻取用コア（3）との全体を、熱収縮性フィルム（5）にて密着包装してあるインクフィルム包装体。

【請求項4】 前記熱収縮性フィルム（5）内の前記インクフィルムロール（A）と前記巻取用コア（3）とが緩衝材（4）で包まれている請求項3記載のインクフィルム包装体。

【請求項5】 前記緩衝材（4）の一端部（4a）が、インクフィルムロール（A）の外周面と巻取用コア（3）の外周面との間に入り込み配置されている請求項4記載のインクフィルム包装体。

【図面の簡単な説明】

【図1】本考案の第1実施例のインクフィルム包装体を示す全体の斜視図

【図2】インクフィルムロール及び巻取用コアの斜視図

【図3】緩衝材を巻き付けたときの斜視図

【図4】熱収縮性フィルム内に入れたときの斜視図

【図5】第2実施例のインクフィルム包装体を示す断面図

【図6】従来のインクフィルム包装体を示す分解斜視図

【符号の説明】

A インクフィルムロール

1 転写インクフィルム

2 供給用コア

3 巻取用コア

4 緩衝材

4a 一端部

5 熱収縮性フィルム

【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図2

【補正方法】変更

【補正内容】

【図2】

